

教科学習における指導の具体例

原因・理由の理解=「どこができないのか」「どのようにできないのか」

ポイント1 援助の工夫、補助手段の活用=「どうしたらできるのか」

ポイント2 目標の変更=「どうしてもできない」のなら→「できることは何か」

筆算につまずいている子ども

例えば、桁がそろえられない。空間的な認知の障害も考えられる・・・

ポイント1 マス目を使って桁をそろえる。桁がずれないように目盛りのない定規を桁に合わせながら計算するなど、補助手段の活用を考える。

ポイント2 電卓などの活用を図る。人と違うやり方でやれる方法を知り、それを使えるようにすることが大切である。

文章題につまずいている子ども

例えば、意味がとれない。読みの能力の障害も考えられる・・・

ポイント1 本児の能力にあった文章を読む機会を多く取る。先生が文章題を読んであげたり、その意味をかみ砕いて説明したりする。

ポイント2 先生が具体物で説明しながら、一緒に問題を解いたり、問題量を加減してあげたりすることが大切である。



漢字につまずいている子ども

例えば、形がとれない。目と手の運動調整の障害も考えられる・・・

ポイント1 線を描く遊びをする、楽しく全身を動かすなど、細かな動きの調整力を高めるような活動をする、大きなマス目のノートを使用するなど。

ポイント2 ワープロを活用するなど、漢字を書くことだけにこだわらない。

話すことにつまずいている子ども

例えば、自分の言いたいことをうまくまとめて表現できない・・・

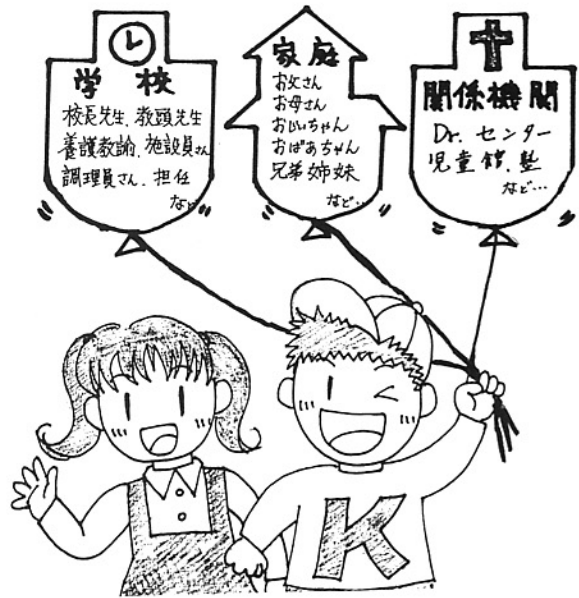
ポイント1 批判をしない、せかさず待つ、失敗を許すなど、自由に話せる雰囲気を作る。話す内容や順序・構成などを文字や図で示してあげる。

ポイント2 本人が表現したいと思われることを教師がくみ取り、言語化してあげる。

先生やおうちの方が、これらのポイントを頭に置きながら、本人がつまずいているところを乗り越えられるように援助していきましょう。

4. 子どもを支える支援ネットワークを作しましょう。

- ①親と一緒に、子どもの問題の共有をしましょう。次に、子どもにどんな支援が必要なのか、また、周囲の大人がどんな支援ができるのかをよく相談しましょう。子どもへの一貫した対応が必要です。
- ②その子にかかわる先生方、施設員さん、事務員さんなどに声をかけて、その子を支援する仲間を作しましょう。担任一人で対応していくには限界があります。他の人に手伝ってもらってよいのです。
- ③子どもの発達にあった援助のできる医療・心理・教育機関を利用しましょう。特殊教育センターでも相談に応じています。先生方とともに子どものサポートをお手伝いします。



5. 参考資料を活用しましょう。

- 「学級担任のためのLD指導 Q&A」 上野一彦著 教育出版
- 「LD教育選書③ LDの領域別指導事例集：集団から教科指導まで」 上野一彦，他編 学習研究社
- 「発達に遅れのある子どもの算数・数学Ⅰ 数と計算編」 藤原鴻一郎著 学習研究社
- 「学習障害（LD）を含む学習困難な児童生徒の指導方法 一事例研究のまとめ」 京都府総合教育センター H10
- 「障害児の発達と学習」 清野茂博，他著 コレール社
- 「落ち着きのない子どもたち」 石崎朝世著 すずき出版
- 「学習障害児の教育 一診断と治療のための実践事例集一」 上野一彦・牟田悦子共編著 日本文化科学社
- 「認知学習ハンドブック」 宮本茂雄，他編 コレール社
- 「LD（学習障害）教育実践のための資料集」 キャロル・バートン著，山口薫，竹田契一翻訳・監修 国際治療教育研究所

ほか

当センターでも貸出しのできるものがあります。

**情緒の安定が何よりです。
子どもに完全さを求めないでおきましょう！**

（絵：濱中香里）

業務案内

相談

- ・日常生活や就学、教育に関する相談を行っています。保育園や学校に出向いての相談も行います。
【教育相談】
- ・お子さんの状態に合わせて、定期的な通所による指導と共に相談を行っています。お母さん方の悩みを受け止め、子育ての支援をしています。
【教育指導】
- ・小・中学校の通常の学級に在籍する言語面や情緒面で気がかりなお子さんには、学校に出向いて指導や相談を行っています。お子さんの状態によって個別指導や小集団指導を行い、学校での環境調整や担任および学校と保護者との関係調整などのコンサルテーションも行います。
【巡回指導】
- ・遠方で来られない方のために、県内各地を巡回する相談会も行っています。
【巡回教育相談会】

研修講座

- ・初めて特殊教育に携わる教職員のための基礎研修、新採用教員のための初任者研修を行っています。
- ・障害児教育の専門性を高めるための専門研修、実技研修を行っています。
- ・県内外から著名な講師を招き、最新の情報をお伝えします。

研究・啓発

- ・特殊教育に関する研究課題を設定し、調査・研究を行っています。
- ・県内の特殊教育諸学校や特殊学級、県外の研究機関と協力し、研究しています。
- ・障害に応じた教材・教具の開発、制作を行っています。
- ・県内の特殊教育に関する「情報センター」としての役割も担っています。

気軽にお電話を



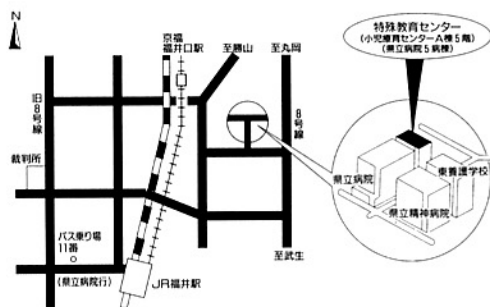
相談日時：月～金曜日（9：00～17：00）

- ・相談内容の秘密は厳守します。
- ・費用は無料です。

福井県特殊教育センター

〒910-0846 福井市四ツ井2丁目8番48号
(URL)<http://www2.interbroad.or.jp/fukuisec/index.html>
(e-mail)fukuisec@ma.interbroad.or.jp

TEL/FAX：(0776)53-6574
52-6272

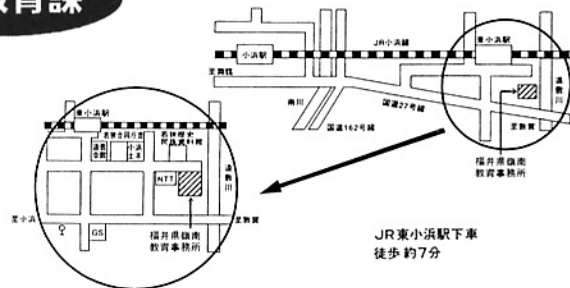


福井県教育庁嶺南教育事務所特殊教育課

〒917-0241 小浜市遠敷2丁目205
TEL：(0770)56-1095
FAX：(0770)56-1391

敦賀駐在

TEL：(0770)22-0001(内線295)



JR東小浜駅下車
徒歩約7分

平成10年11月発行